

●小山乃里子の
ノコちゃん

華麗なる食べある記

△67 V イタリア料理 麻布キャンティ
△68 V 北海道郷土料理 蝦夷

□麻布キャンティ

★素材を生かして季節感のある本格派イタリア料理

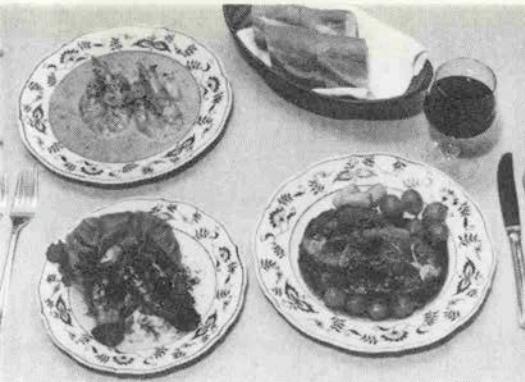
異人館俱楽部の階段をトントンと上つて、またトントンと下がる。だから正確には地下とはいえないが、そこに「麻布キャンティ」が店を開いて、早いものでもう丸三年である。最初、麻布という文字にいささか抵抗を感じた。というのも、私は関西、特に神戸を身びきにするあまり、アンチ東京という面があつて、きっとキザな店にちがいない。東京では、この料理が喜ばれておりました。なんていわれちやかなわい、とのぞこうともしなかつた。ところが、北野町に住む友人のペラさん、彼女はかなりの食通だが、おいしいブイヤベースを食べさせられる店があるから行かないとのお誘いでついていったらこの店だった。海の幸がステップにじっくりとなじんでとても素敵な味だった。シェフのおすすめサラダというものもおいしくて、私の偏見はすぐさまどこかへ消えた。実に単純なものである。それからちょこちょこ行っていれる。入口を入れて右手がレストラン、左手にウェイティングバー。壁一面の様々な絵に目をうばわれ、真中のテーブルの上にどんとのったバルメザンチーズ(30キロは

あるということだが)におどろき、骨つきハムをのぞきこみ、今日のデザートは何にしようと品定めしてやおら

テーブルにつく。

グラスカーティというちょっと甘口のおいしいワインを一口飲んだところで、グレープフルーツのカニサラダ詰が運ばれてきた。半分に切られたグレープフルーツの中に、マッシュルーム、あさつき、セロリの細切り、カニなどがおいしく盛り合わされている。枝豆のクリームスープ。冷たくって、ちょっと口の中でつぶつぶがとけて、スタロゴンの葉の酢づけがぽつかりちらりと浮いている。牛ヘレ肉のロースト、マスカット詰め、これは珍らしいもの。シェフの増永さんのオリジナルとかで、マスカットを埋めこんだというか散りばめたローストビーフ。柔らかい肉としなと甘いマスカットの組み合わせ。まわりにクレピネットがまかれている。車海老と舌解の地中海風白トリフ添え。白いトリフとはこれまた珍らしい。ピオモンテ地方特産とかで、このあたりがフレンチエに事務所を置き材料の仕入れをしているというこの店の強味である。肉や魚は他の店でも良いものは揃えられるが、チーズやトリフのたぐい、そして肝心のオーブンオイルなどが一味も二味もちがうようだ。なすの





上／車海老と舌詠の地中海風白トリフ添
下左／ナスのサラダアンチョビ添
下右／牛へし肉のローストマスカット詰

イタリア料理のことになると熱っぽく話す
料理長の増永量さん



サラダアンチョビ添え。焼かれた茄子の上に塩ぬきしたアンチョビとあさつきの細かく切ったものがのっかっている。これがあっさりさっぱりとした口当りだった。

毎月第4木曜日、イタリア料理を楽しむ会というのがあって、毎回申し込み多数と聞いたが、一度ここ料理に接した人が、何か一つでも味を自分のものにしようという意欲は実に良くわかる気がした。私も、ぜひ参加しようと思っているのです。

海の幸のオードブル／1,600円 自家製パンハム(冬場のみ)／1,800円 イタリア産のこのソース和えパゲッティ／1,300円 仔牛ロースの詰物焼き／2,500円 牛ヘレ肉のグラウンドソース炒めビエモント風／3,000円 七面鳥のソテー生ハムチーズのせ／2,300円
中央区北野町4丁目異人館俱楽部地階 ■222-15380 午前11時30分～午後10時 第3月曜休

■ 蝦夷

★神戸唯一の北海道料理店。珍味や地酒も。

北海道の生まれと聞くと、たいていの人達が自分が行った時の北海道の味を話し出す。もちろん雄大な景色も時々入るが、札幌大通公園のトウモロコシがおいしかったとか、小樽で食べた寿司が忘れられないとか、知床の羅臼の、あのいかのいかつしたこと(なんのこつちや...)。しかし、道産子からいわせてもらうなら、最近の、札幌なんぞにある観光客目当ての大きな料理屋、看板ばかりで、本当の北海道の味は失われている。あのるいべ(鮭のさしみを凍らせたもの)のカチンカチンで向こうがすけて見えそうな薄くてまずいやつ、ぐちやぐちやにむしたじやがいも、さくさくの毛ガニ、どうも去年の暮に飛び込んだ札幌の店のひどいイメージが今だに頭をさらないうようだが、そんな店で食べておいしいおいしいと感激している内地の人が気の毒と思ってしまったほどだった。そんな私が、久し振りであるさとの味に出逢った。東門筋を少し上った右側、東門会館ビル一階のどんづき、十五人も入れれば満員という小さな店である。目が慣れるまでにしばらくかかりそうな暗さ。というのも、なんと

夷 蝦



上左／毛ガニ 上右／ほたて貝
下左／るいべ 下右／石狩の味

「材料は北海道から空輸するんです」と話す
ママの高瀬光永さんは道産子

ランプの火が灯油でちらちら燃えているのだ。熊狩りの山小屋といった雰囲気。そういうえば熊の毛皮も壁にかかっている。大きなアイヌの木彫りの夫婦、バターのいい香り。帯広出身の光永さん、結婚を期に神戸にいらしたが、実家が大きな旅館をやつてらした関係で、魚や野菜が産地直送できる条件的なこと、貿易商をやつてらしやる御主人の理解のもとに、趣味で始めたのが気がついたら十年と笑顔がこぼれる。

るいべのこの適当な大きさ、解けかかった時の舌ざわり。そう、これでなくっちゃ。生じやけといくらの酢づけ。石狩の味と名付けられたこのおつまみもいける。帆立貝のバター焼き。ステーキのちょっとびり塩つけを含むまつたりした味がおいしい。北海道名産マイクイーンのホイル焼き。皮のまま一度むして皮をむき、バターをたっぷりのホイルでむし焼き。表面がカリカリと焼けて、こういうじやがいもの食べ方は初めて。ビールによし、お酒（千歳鶴）によし、十勝ワインによし。毛ガニに手を出そうとしたら、氷下魚を軽くあぶったのが、これ最近のヒット商品よと出てきた。ちょっとふぐの干物のようでもあり、おしよう油とマヨネーズに軽くつけて食べてみると。いくらでも食べそう。うわあ、にしんのひらき、こっちに来たら本当にしんの味つて忘れそうよねえ、と光永さんとキヤーワーいいながらついにはしが出る。寒くなるとやはり石狩鍋。ここは十勝鍋となつていたが良く出るらしい。

道産子をはじめ、むこうで仕事をしていた人、あこがれている人、色々な人達がそれぞれの想いをこめてやって来る。父の後輩の方々もたくさん来られるとか。一度ここへ連れて来たかったなあ。

蝦夷鍋／1200円	十勝鍋／1200円	毛ガニ／4000円
ベ／1500円	ししゃも／500円	じゅがいも／500円
／500円	中央区中山手通1丁目4-13	おにぎり
午後6時～12時	東門会館ビル1F	331

神戸つ子がお勧めする

秋の味覚



●そば一筋の老舗
水車でおなじみの正家のそばは、味の良さとゆつたり落ち着ける雰囲気をモットーに神戸の皆さまから愛されてまいりました。これからのシーズン、旬の魚貝類や野菜がたっぷりの鍋物をお楽しんでください。大小ご宴会会合にも最適、おみやげにはそばぼうろをどうぞ。

東京そば



正家

本店／阪急三宮駅山側 ☎ (078) 331-2456, 4178
支店／さんちか味のれん商店、さんプラザ地階
店、神戸商貿センタービル店、国鉄三宮
駅地下秀味街、阪急御影駅上る赤堀山店

●熟成神戸肉の鉄板焼
レンガ造りの落ち着いたインテリアの中、熟成した良質の神戸肉を鉄板で手際よく焼き上げます。ステーキ・サーロイン、ハレとも6,300円(サラダ付)。車海老のバターチャン、アワビのバター焼一人前4,000円。ご家族、友人、グループの会合もご利用ください。

ステーキランド



三宮・中山手通1(前川ビル1F)
☎ (078) 391-3335

●高級料亭の味を気軽に
あつさりした京風おでんや焼鳥を肴に楽しく飲んでいるサラリーマン、季節料理を囲む家族づれなどいつも賑わっています。味はどれをとっても上品で、高級料亭の味わいが氣さくな雰囲気の中で楽しめます。焼鳥一皿200円、おでん80円から。

やき鳥・おでん・季節料理



三宮ビル地下名食街
☎ 251-6757

神戸は味の宝庫

古きの食通がこの町へ足を運び様々な味を堪能した。
そして秋、味の探訪が似合う季節だ。

● 神戸肉炭やきすてくき
打ちつれて
琴の音に楽し
六段の
樂しき宵を
思い出にせん
神戸肉の炭火焼きステー
キはまさしく神戸の味。
しゃぶしゃぶ、すき焼き
も楽しい季節、2階棟敷
を小集会（20名様）に
ご利用ください。

炭やきすてくき・しゃぶしゃぶ



神戸市中央区元町通3丁目8~4(中突堤筋)
☎ (078) 331-2108



六段ロスアンジェルス店の前でズラリ並んだミス山陽たち。

● 真心こめてかきづくし
創業明治6年。新鮮で
美味しいかきをバラエテ
イ豊かに料理するかき料
理専門店。
今年から新たに、かきま
ゼコースを始めました。
他に土手鍋コース、宮島
コースもございます。営
業は10月1日から翌3月
末まで、時間は11時30分
~22時まで(日祝も営業)
カキ料理・会席・鍋物料理

かき十

神戸市中央区中山手通4丁目11~20
☎ (078) 241-1775(代)

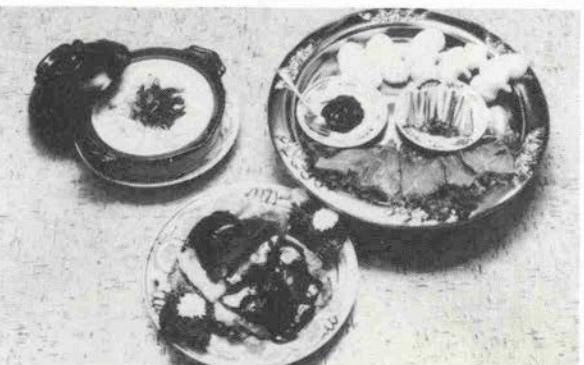


● 美味求真・シティ風
ここ数年で、宝塚は町か
ら街になつたといわれる。
ファランドールの様な素
敵な店が増えたためだろ
うか。“中華料理”という
脂ぎつた響きの似合わな
い、とてもモダンなチャ
イニーズレストラン。“美
味求真”という中華料理
の説い文句に(但しモダン
に)と付け加えたくなる。

中国料理

Chinese Restaurant
フラン・トル

宝塚市中洲1丁目2-24-101
☎ (0797) 73-6445



△その71
ロープウェイを見おろす通学路

市内最高峰の小学校

三宅 武 △詩人△



六甲山小学校の生徒たちとともに（校庭にて）

市内で複式学級があるのは、六甲山小学校ただ一校で、二つの学年が、一つの教室に、一人の担任で授業をうける。しかし、国語、社会、理科は組みあわせを工夫して単式授業を行っている。三年生の社会科は、展望台から市街を一望でき、ボーアイまで見通せる。六甲山も車が多い。歩道は整備されているが、登下校の事故には特に気を配らねばならない。放課後は四時まで運動場を開放し、一斉集団下校する。したがって帰宅時間はほぼ決っている。少しでも遅ければすぐ連絡がとれる。万一の時は、一〇分以内に全道路が封鎖できるとのこと。

集団下校のおかげで、上級生が下級生をとてもいたわる。縦年令の心のふれあいは、他校にくらべてずっと密である。とはいっても、ミニ小学校に特有の悩みはいろいろある。国語の授業など、教師の設問に対して、二人しか児童がいないクラスでは、二通りの答えが返ってくるだけである。同級生の多様な読みとりに接することがない。職員の目が行き届きすぎて、子どもがきゅうくつない思いをしている感があることであった。

お話をいたいでいるうちに、下校時刻になった。予定どおり「六甲山の通学コース」を体験することにした。六年生の石丸靖彦君の下校につきそつて校門を出る。

「何分ぐらい歩くの？」ときく。

「二十分ぐらい」

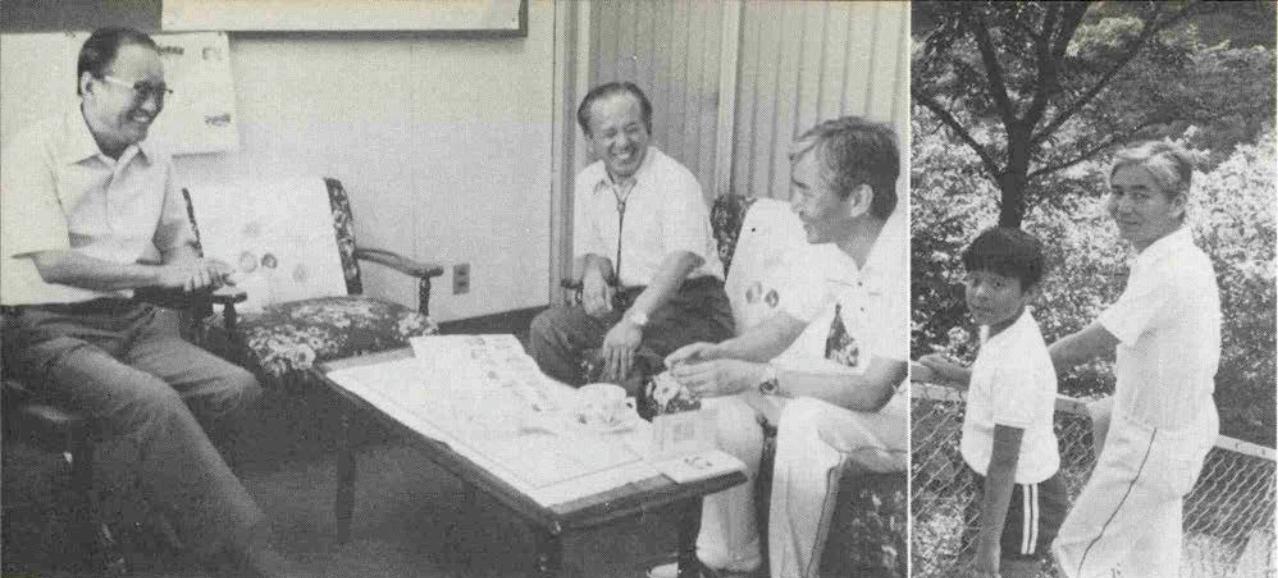
おびただしいヒグラシの鳴声だ。石丸君は重いバッグを提げている。ゴルフ場の横を歩く。ゴルフボールよけで、この学校の特徴を話していただいた。

六甲山に、小学校があるのは知っていた。ぜひ訪れてみたいと思いつづけていて、夢がかなつた。

七月二八日。市内のどの学校も、夏休みに入つて一週間はすぎている。神戸市立六甲山小学校だけが、まだ授業中なのだ。この学校の夏休みは、八月一日から始まる三十一日間である。そのかわり、冬休みが長い。一二月二十一日が、三学期の始業式で、そのあと一週間は、人工スキー場での校外学習。この時期になると、必ず新聞に記事が出る。

六甲山のコースといつても、何も「登山」や「縦走」だけがあるわけではない。

通学路もちゃんとあるのだ。校舎は、標高七九五メートルに位置し、児童数二八名。職員九名。森岡一郎校長は九代目にあたられる。ヒグラシのなき声が降る校長室で、この学校の特徴を話していただいた。



左・校長室で話をうかがう。左より森岡校長、高見教頭各先生と三宅さん。右・6年生の石丸君と一緒に。

のフェンスのトンネルを抜けると、眼下にロープウェイが見える。ゴンドラがのんびりと動いている。道に沿つてあじさいの花が群生している。

「このへんに、カブト虫いるの？」

「いない、でも前にクワガタをつかまえた」

五センチほどのが、家の壁にとまっていたそうだ。

「お母さんの買物はどこへ行くの？」

「ケーブルに乗って町へ出ている」

「町へ出る」という表現をする。「町」の子どものようには遊び友だちが近所にいるわけではない。

石丸君は少しずつ下り坂になっている道を案内してくれる。ヒグラシとあじさいにかこまれるような道だ。銀行や企業の山荘ばかりがある。

「休みの日は何してるの？」

「お兄ちゃんとキヤッチボールしたり、トンボをとったり……」

石丸君も来年は中学生だ。お兄ちゃんと一緒にケーブルとバスで鷹匠中学へ通うことになる。ケーブルに乗るのは観光の時ぐらいだと思っているのは、『町』の感覚なのだ。プラモデルをひとつ買うのもケーブルに乗らなければならぬ。

石丸君の家に着いた。ロープウェイがやや下方に見えた。そこから今度は大人だけで学校まで歩いてみる。今度は全部登り坂だ。石丸君と同じ速度かどうか、大人の足でも、やっぱり二十分かかっていた。

学校の水道で手を洗つた。水は、下界よりうんと冷く感じた。冬は水道が凍つて困りますとは教頭先生の言葉であった。

いつも、六甲山を見あげている人と、いつも六甲山から見おろして暮している人とは、たぶん、神戸の街についての印象がちがうであろう。「山頂感覚」と「山麓感覚」の対談など行つてみたら、新しい神戸像が探れるのではないかと思うかと思いつつ下山した。

長田小学校—高取山—鶴越—烏原貯水池—石井橋



高取山の野鳥

加藤 昌宏 △神戸市立歌敷山中学校教諭▽



高取山にて筆者

このシリーズでまだ空白になつてゐる高取山東半分のコースを歩くこと、市バス五位の池線長田小学校前で編集部のS氏と落合つた。石の鳥居をくぐり、登山路をかねたコンクリート階段の参道に入る。しばらく登るとやがて西代方面から登つて來た道と合流する。今、登つて來た道とこの道とに挟まれた谷は私の子供の頃「八丁谷」と呼んだ。西代からの登山路の八丁目を示す石碑が谷の脇に立つてゐるからである。そして、この谷の東側一帯の森が梅木畑国有林である。最近になつてこの森をとりまく尾根道に標識が立てられ、近くの市民にちょうどよい散歩のコースとして親しまれるようになつた。ここがいちばん自然林に恵まれた人手がほとんど入つていらない森である。エノキの大木が目立ち、一步中踏み込めばカシやクス、ツバキ、ソヨゴなどの曲高木や低木が鬱蒼と繁つてゐる。また、一部にはクヌギやコナラの萌芽が二次林として完成に近く、林床には数種のシダやササがつき、小さな湧水の流れもあつて野鳥に好都合な環境の一つのモデルのようである。身近にこのような所があるのも神戸の一つの誇りであろう。惜しいことに場所が狭く低い山なので棲みつく鳥の種類は限られ、渡りの途中にちよつと立ち寄つただけといふ鳥が多い。一日ぶらりと谷に入つて夏で十数種類、冬で二十数種類、一年続けて六十種類ほどといったところである。私はここで百種類余を数えているがそれにはずい分長い年月を費した。

梅木畑のエノキは秋から冬にかけて多量の実を野鳥に提供する。南向きの斜面で暖かいこともあつて冬の鳥は数が多い。シメやツグミはヒヨドリと共に目立つ鳥の例である。

春と秋の渡り鳥が通る四、五月と九、十月頃は高取山の鳥の種類が最も多彩になるときである。特に春はさえずりながら来るので目につきやすい。コルリやコマドリ、エゾムシクイ、ホトトギス、カッコウ、クロツグミ、やや遅れてメボソムシクイなど数多くの名歌手たちが次々と美しいさえずりを披露し、深山の雰囲気を盛上げてくれる。手軽に行けて楽しい森である。この森はちょっと覗くだけにしてすぐに参道に戻つた。

トビは高取に多い。鷹取という地名もあるほどだから、

タカの一種トビは昔から目立つ存在であったのかも知れない。トビは姿、型とも均整のとれた大型の立派なタカでありながら、一般にはタカより一段格下げして、扱われる慣わしがある。死んだ魚や鳥獸を主食とするため、生きた鮮をとる他のタカより精悍な面に欠けるからだろうか。しかし、このような食性を獲得したからこそ都会近くで高密度に繁栄していくのである。高取のトビが雛を育てるとき、たくさんスズメを捕えて来るのは、タカとしての敏捷さがまだ残っている証しである。

カラスも多い鳥だが、トビとカラスはよい喧嘩相手である。特に繁殖期の三月から六月頃盛んに空中戦を開く。たがいに卵や雛をねらう油断のならない仲だから自分の巣の近くを飛ぶ相手を極度に嫌う。縄張りを主張し争いが絶えない。騒ぎたてて攻撃をしかけるのはたいでいいカラスの側で、トビは身をひるがえして逃げ、適当にあしらっている。もちろんトビが攻撃に転ずれば、カラスは問題になる相手ではない。

カラスには二種類ある。いっしょに登った友達と識別

春と秋には高取山の鳥の種類が最も多彩になる



キジバトも多い。ヤマバトといつた方が通りがよいが、最近は町の中でもよく見るようになった。町で聞くところでもないが、山の朝に聞くこの鳥は実にいいものである。

山頂の高取神社でひと休み、途中のコンクリート階段の連続にはややうんざりした。取材のため登山した日はまだ夏の名残りを多分にとどめ、麓から吹き上げてくる風が汗びっしりの肌に気持ちよかつた。季節が適当でなかつたのと参道を歩いただけであったので見た鳥は数も種類もすい分少かつた。来た道を途中まで引き返し、六甲全縦コースを鴨越方面へ。ニセアカシアの林ではシジュウガラが二、三羽枝移りしていた。ウグイスがときどき思い出したように鳴く。山の中にも多かつたミンミンゼミが町に近づくに従つてアラゼミに置き換つてきた。神鉄鴨越駅から鳥原貯水池へぬけ下山した。

の競い合いをするのも面白い。嘴がもり上ったように太く、やや大型のハシブトガラス。嘴がさほど太くなく、やや小振りなハシボソガラス。鳴声も違うし、翼の形も違つてゐるのでなれるとすぐ区別できるようになる。

アカデミー賞受賞作品『愛のファミリー』の

デボルト夫妻を 神戸に迎えて

橋 本 明（社団法人「家庭養護促進協会」事務局長）

四年前に日本で上映され、日本中に熱い感動を呼び起したアメリカ映画『愛のファミリー』は、アカデミー賞、エミー賞など数々の賞を受賞した名作である。ジョン・コート監督は、アメリカのカリフォニア州、ピートモントという町のデボルト家にカメラを持ち込み、三年間この家族の記録を撮りつけた。しかし、この映画の製作費を出してくれるスポンサーがアメリカでは誰もなく、困っていたところ日本のサンリオの社長、辻信太郎氏がその費用を負担し、完成したという、日本人にとって嬉しい映画である。



神戸国際交流会館で講演するデボルト夫妻

デボルト夫妻には六人の実子がいるが、他に十三人もの養子がいる。そのうちの八人は障害をもつた子どもたちで、ベトナム戦争で重傷を負い、下半身マヒのタクとアン、生まれた時から両手足を失なった黒人の女の子カレン、足の不自由な韓国人とアメリカ人の混血であるサニー、下半身マヒで

盲目もあるJ・Rなど、重い障害をもつた子どもたちを引きとつて育てている。

この『愛のファミリー』の主演者であり、十三人の子どもたちの里親でもあるロバート・デボルト夫妻の来日が、里親運動をすすめる家庭養護促進協会らの招きでこの夏実現し、八月二十三日神戸を訪れた。

午後は神戸市の狩野助役と懇談し、障害児の福祉について意見を交換。その後、ポートアイランの神戸国際交流会館のメイン・ホールで満員の聴衆に、夫妻の体験を通して子どもの幸せをみんなで共に考えていくことの大切さを話し、深い感動を与えた。

この講演の中で、夫妻は重い障害をもち、誰にも引きとられることのなかったカレンとJ・Rを育てる決心をし、その子どもたちがどんなに素晴らしい豊かな人間性と能力をもっているかに気づき、障害児が自立するために失なったものにのみ目をむけるのではなく、その子がもっている残された機能を大切にし、何ができるかをみつけていくことが大事と訴えた。

『愛のファミリー』の第一部が封切られて五年後のデボルト家のその後の家族の成長の姿を描いた第二部のフィルムが、この講演と同時に上映された。サニーは一五才、



カレンは一四才になり、二人とも松葉づえをつきながら公立の普通の学校へ通い、オーケストラに入っている。

サニーはピアノ、カレンはマリンバが得意だ。盲目のJ

・Rは一七才になり、現在は松葉づえをついて地域の普

通の学校に通っており、アナウンサーを夢みている。

重い障害をもちながら、明かるく、たくましく成長を

続いているデボルト家の家族の姿を、第二作めのファイルも見事に描き出している。

デボルト夫妻は七年前に障害児の養子縁組を進めるASK(特別児童養子援助協会)を設立。すでに千五百人の子どもたちに新しい家庭を紹介した。障害児がうける医療や器具は公費負担なので、経済的には多少重荷が少なくなる。「豪華な家具やヨーロッパ旅行をあきらめて、スープをちよっと水増しすれば大家族でも苦にならない」と夫のロバート氏はいう。現在アメリカでは、約五十万人の里子が里親家庭で暮している。日本の約三千人ほどの里子の数とくらべれば驚くべき数である。しかし、それは一面では、それだけ多くの子どもたちが生まれた親に育てられないという不幸な現実を物語っている。

「二組に一組もの夫婦が離婚し、多くの子どもたちが

親によってひどい虐待をうけている。家庭を失なった子どもたちは何軒もの里親をたらい回しにされたりしていることもある。アメリカの本来の里親制度がくずれ、今、大きな変化が起りつつあるのです」とドロシー夫人はつけ加える。「今、あなたたちの一人一人が行動を起せば、社会を徐々に変えていくことができるのです。明日でなく、今からはじめて下さい」と二人は講演をしめくくった。

帰りのタクシーの中でドロシー夫人は私に「今日来て下さった多くの人たちのうち何人が障害児の幸せを、本気で考えてくださるようになるでしょうか」と聞いかれた。「一人でも多くの人が深い関心と理解をもって下さればいいですね」と返事をしたもの、どれだけの人たちが自分たちの問題という受けとめ方をしてくださるか、はなはだ心もとなかった。「神戸にはもつといたかった」といしながら、ドロシー夫人は翌日日本を離れた。九月から子どもたちの新学期が始まるのと、すぐにまたアメリカ各地への講演旅行が待っているのだ。デボルト夫妻が日本の各地で撒いた種が、日本の愛のファミリーとなつて多く芽を出してほしいものである。



(上) 小笠原兵庫県副知事を訪問 (中) 狩野神戸市助役と歓談
(下) 講演後のサイン会

鎌倉時代の神戸

郷土史家

落合重信



経島の修築を完成させた重源

鎌倉時代は源頼朝による鎌倉幕府の創設によって幕があけられる。皮肉な言い方をすれば兵庫を本拠にした平家の没落とともに成立したと言える。

頼朝は本拠を鎌倉に置いたため、兵庫との関係はほとんど出てこない。

兵庫の名は「吾妻鑑」寿永三年（一一八四）三月六日、平家の没官領の中の「兵庫三箇庄」にみえるが、没官領ということから、それ以前からの名前である。応保二年（一一六二）卯月吉日の記入のある条里断簡図には、現在の平野に当るあ

る。清盛の経島築造から二〇余年たった建久七年（一一九六）四月に、東大寺再建にあつた同寺の僧、重源が魚住、河尻一ノ洲と共に経島の修理を官に願い出ている。この修築は経島を不動のものにする大がかりなもので、清盛の築造同様、

日本で最初の巨大な築港工事であったと言うことがで

きる。

現在の兵庫の街は清盛や重源が築いた経島の上に出来たのではないかと推定されるが、なお実証をまつところである。

重源の修理によって港としての基礎も定まり、一路発展の道をたどる。この輪田ノ泊（兵庫津）の繁栄に目をつけたのが西宮の広田神社である。広くその付近の海域を領していた広田神

社は、その勢力を伸ばすべく清盛在住時代から海上渡御を企て和田岬に至つてゐる。広田・南宮・西宮三社の神輿をおいたのが、三石神社の三ツ石だといわれ、帰路は陸上をとつたため、道々に茶屋ができるといふ。

時宗の開祖一遍上人が教化のために四国をめぐり、病をえて淡路から兵庫の観音堂に入つたのは正応二年（一二八九）夏のことである

が、それより少し早く弘安八年（一二八五）には当時興

大寺の高僧叡尊も社会教化

のため播磨を行脚して八月

一一日兵庫へ入つてゐる。

この修築は経島を不

動のものにする大がかりな

もので、清盛の築造同様、

の高僧が相前後して来てい

安政2年創業

日持ちのする

甘納豆
甘納豆
甘納豆



本社 神戸福原口 ☎ (55) 5536
直売店 神戸さんちかスイーツタウン
各百貨店・大阪梅田三番街・大阪、羽田
国際空港・阪急百貨店鎌菓街・新大阪ス
テーションストア

慶びの家具

江戸居

神戸市兵庫区塚本通2丁目1番1号
永沢町交差点 ☎ 078-575-3120
東店 ☎ 078-576-0054
毎週金曜日定休日

お好み焼

美丁
Yoshicho

福原金比羅宮西入ル ☎ 575-7913
平日・PM3~PM10:30
金土日・AM11:30~PM10:30
水曜日定休日



結婚式は
神戸 平安閣

☎ (078) 351-3390
高速新聞地駅東へ200米

ることは、兵庫の町の繁榮

ぶりを示すものであるが、収

尊の自叙伝ともいべき

「感身学生記」には、八月

二三日に安養寺で住民九〇

○余人に菩薩戒を授け、一

七八〇人の淫女に教えを説

いたと記されている。一七

八〇人の淫女というは、

酒を淫酒というように仏教

的觀念から一般の女性まで

を淫女と呼んだものだろう

が、港町として多くの遊女が

いたのは確かである。

鎌倉時代の後期には、寺

社の經費にあたるために、

淀、渡辺・神崎・一ノ洲

兵庫など主要な港に対し

津料の收入を目的とする関

所がおかれるようになる。

これは経島を築造するた

めに出入りの船から人手や



姫店

●味づくりに生きる
かねてつ

創業は大正15年3月、
先代村上鐵雄社長が西宮
で煉製品製造を始めた。

昭和23年にかねてつ蒲鉾
株式会社を設立し、兵庫
へ移ってきた。以後、ち
んびら、やきぬき、こが
ね、はも板、白竹、竹車
などのヒット商品を開発
してつちゃん、てつちゃん
ん、かねてつちゃんの
CMソングは一世を風靡
した。

最近のヒット商品は、
かに風味のクラブ・ステ
ィック。従来のかまぼこ
に比べ和・洋・中華と料

理の用途の広いのが特色
で、54年暮から生産を始
めて好評を博している。
現在は、かまぼこだけ
ではなく広くデリカツセ
ンというとろえ方で進
んでいる。

「毎日が味の真剣勝負」
というのが同社のモット
ーで、今、なにが食卓で
求められ、味の好みがど
う変わっているかを探り
ながら喜ばれる商品開発
にとりくんでいます。

カステラは1番・電話は2番(575局)
文明堂のカステラ
文明堂神戸店

ポートピア81「ジャイアント」
パン・饅頭
六甲峰
株式会社 兵庫 するが庵
サンこうべ店・灘川店
本店/市バス柳原停前 576-0790

世界の洋酒
世界のワインが
楽しめる
株式会社 北野商店
本店 兵庫区中道通1丁目4-31
TEL (078) 577-1181~3
山の街店 TEL (078) 581-2377
名谷店 TEL (078) 791-7171~2

味
パラエティ豊かな味づくり
おいしいさはすむ楽しい食卓づくり.....
味づくりに生きる
かねてつ

米を供出させたことが端緒
であるが、畿内・西国にお

ける流通経済の発展によっ

て港が新しい財源として注

目されたからである。

弘安九年、兵庫島の艘別

錢が讃岐国善通寺修造用に

あてられ、徳治二年(一三

〇七)には商船津料が京都

法觀寺に与えられる。さら

に延慶元年(一三〇八)に

は東大寺が兵庫關において

石別一升の升米と置石を徵

取する権利を新しく獲得し

た。

このような関所の津料徵

収は商人や問丸にとつては

大きな負担であり、それま

で自由に港を出入りしてい

た人々の敵意を燃やさせる

こととなつた。

応長元年(一三二一)阿

波國小勢津商人德瑟法師と
問丸兵庫島鑄物師掃部允ら

が兵庫關に押し寄せて、関

所使者神人らに対し刃傷に

おび、船や雜物を強奪し

てゐる。

また正和四年(一三二

五)にも延暦寺の僧治部卿

律師良慶ら多数が、兵庫關

に乱入して守護使と合戦す

る。事件関係者は兵庫・輪

田・打出・西宮・尼崎・加

島など大阪港沿岸から淀・

芋洗・下津など淀川上流に

及び水上交通の幹線に当た

っている。この当時の商人

や問丸(問屋・旅宿・為替

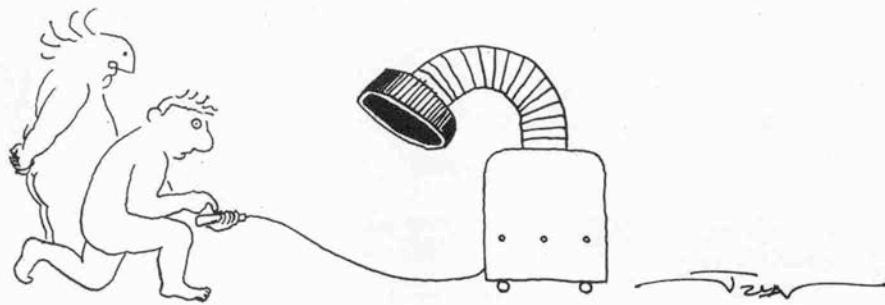
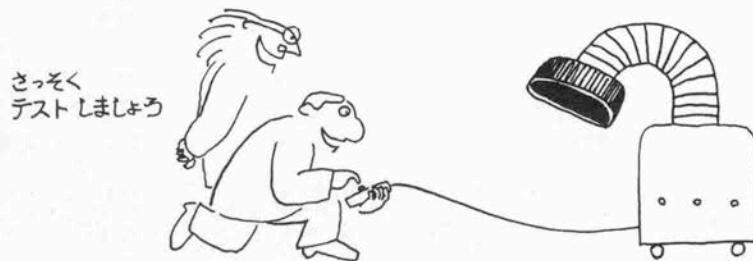
を兼業するもの)・借上(金

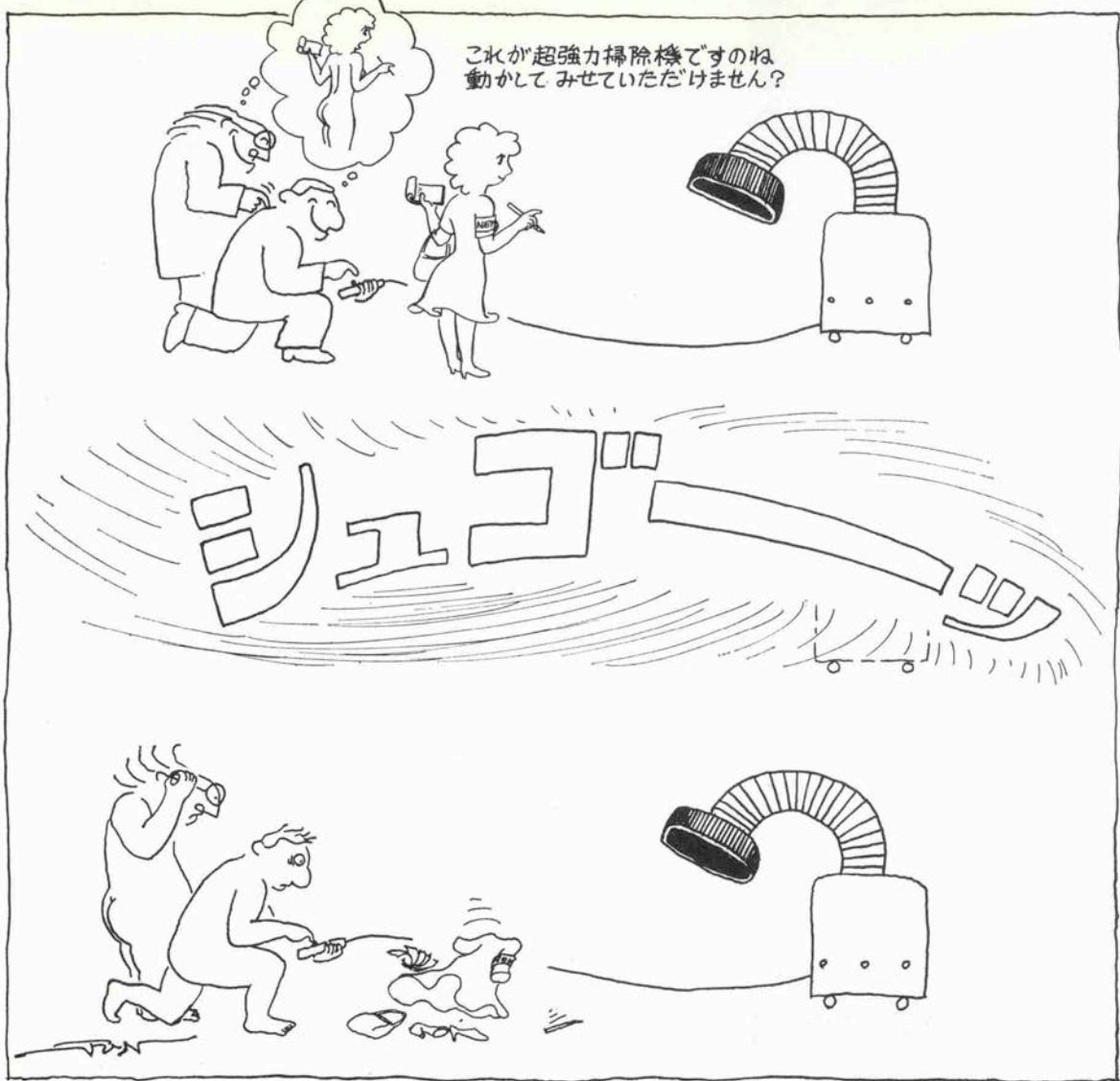
貸し)などにとつては関所

はいちじるしく流通を阻害す

るものだったのである。

超強力掃除機が完成したぞ





KOBE MODERN CULTURE



音 樂

★ビバ ナナ

木の実ナナ リサイタル

10月11日(日) 5時 神戸国際会館
S・400円 A・3000円
B・2000円



木の実ナナ



SKDアトミックガールズ

細川俊之とコンビを組んでの「ショウ・ガール」でノッてる木の実ナナのミュージカルナンバーを歌つて踊つてのリサイタル。ナナ自身とイラストレーターの和田誠が構成し、ナナと西条満が歌つて踊る。デビューライドとして20年のナナ、エンターテイナーとしての実力充分のナナの自信に満ちた約2時間のステージが繰り広げられる。演奏曲目は「よう

こそ劇場へ」「エンタテイナー」「愛してごめんなさい」ほかミュージカルナンバ。

本人だけでなく、海外からの観光客にもよく知られ、今や東京の観光名所のひとつとなっている。

毎年定期公演される「東京踊り」「夏の踊り」「秋の踊り」は三大踊りといわれ、その「東京踊り」が初めて神戸で公演される。スピード感とリズム感、そして若さあふれるレビューが楽しめる。

れるSKDのショーは、日本人だけでなく、海外からの観光客にもよく知られ、今や東京の観光名所のひとつとなっている。

毎年定期公演される「東京踊り」「夏の踊り」「秋の踊り」は三大踊りといわれ、その「東京踊り」が初めて神戸で公演される。スピード感とリズム感、そして若さあふれるレビューが

午後の部は、能「蝶丸」を神戸の重鎮藤井徳三と上田照也が、狂言「佐渡狐」を茂山千作と茂山千五郎、能「大瓶猩々」を渡井義信が演じる。

いずれもボビュラーで一般受けするものだから、一日ゆっくり楽しむことがで



嵐山

午前の部は、能「嵐山」を勝部全一、能「小督」を越賀義隆、狂言「筑紫奥」を善竹忠一郎が演じる。

ひとつである「神戸能」が第9回を迎える。今年は地元の神戸觀世会が総力をあげ、大能に挑み、ファンを満喫させてくれるだろう。

10月10日(火) ①10時半 ②2時半
神戸文化大ホール 一般前売・3000円 当日・4000円 学生前売・1000円 当日・1500円

★第9回神戸能

古典芸能

きるだろう。
★愛読者10名様を第9回神戸能にご招待します。
ご希望の方は、葉書に住所・氏名・年令・職業・午前の部か午後
の部を明記の上、神戸子編集室
「神戸能の係」まで。



映 画

★フランス映画「愛と哀しみのボレロ」

愛読者ご招待
製作・脚本・監督／クロード・ルルーシュ、音楽構成
音楽監督／ミシェル・ルグラン、フランス・レイ。

人生は愛と哀しみの連続だ。どんな人だって愛だけでも満ちているとは言えないし、また哀しみだけでもない。愛と哀しみが切れ切れにやってきてその人の人生を形成していく。音楽に



愛と哀しみのボレロ

たとえば、ラベルのボレロのようだ。四つの国籍の、四つの家族の45年間にわたる、流転と別れとめぐりあいだが、

音楽と、パレエによつて描かれる大河ドラマ。

出演／ロベール・オッセン

ニコール・ガルシア、ジエラルデイン・チャップリン

ジームス・カーン、ダニエル・オルブリフスキ、ジヨルジュ・ドン、リタ・ボーレル・ブールなど多彩。エンディング17分間、ボレロに合わせて踊るシーンは大

压巻。
■この映画に愛読者10名を招待ご希望の方は神戸戸子編集室「愛と哀しみのボレロ」係まで葉書で

10時



音楽

★第2回ユーカリコンサート

3日(土) 6時半 神戸文化大ホール
1500円(高校生以下)
1000円(中学生)

A・2600円 B・2300円

C・4000円

ル 1000円
★ペルリン・フィル弦楽四重奏団

24日(木) 7時 神戸国際交流会

館 2800円

★神戸でバハを

28日(水) 7時 北野・風見鶏の

館 1000円 ヴァイオリン・

高橋保子、ピアノ・田中修二、

話題・延原武春

★もんた&フライズ

29日(木) 6時半 神戸国際会館

1000円 ヴィオラ・

ル一般・1500円 学生・1000円

★第3回小田イタル・コンサート

4日(日) 3時 神戸文化大ホール

1500円(高校生以下)
1000円(中学生)

A・2600円 B・2300円

C・4000円

★和波孝喜コンサート

11日(日) 2時 芦屋ルナホール

1500円(高校生以下)
1000円(中学生)

★アゴナショ・ジョルジ

12日(火) 6時半 元町・月月堂

2000円

★大阪フィルハーモニー交響楽団

邦人作品の夕べ

9日(金) 6時半 神戸文化大ホール

2500円

★和波孝喜コンサート

前売1500円 当日1800円

★アゴナショ・ジョルジ

ビアノ演奏会

20日(火) 6時半 神戸文化大ホール

2800円

★神戸文庫ノール独唱会

23日(金) 7時 神戸文化大ホール

2000円

★フランス国立ローラン・ブティ

バレエ団

13日(火) 6時 神戸文化大ホール

8000円 A・6500

B・5000円 C・4000円

0円

★京舞

20日(火) 6時半 神戸文化大ホール

民音・会員・2500円

一般・2800円

★ボーランド国立

マツフシエ民族合唱舞踊団

28日(水) 6時半 神戸文化大ホール

民音・会員・6500円

★香雪美術館

9/15/12/13



舞踊

★フランス国立ローラン・ブティ

バレエ団

13日(火) 6時 神戸文化大ホール

S・8000円 A・6500

B・5000円 C・4000円

0円

★京舞

20日(火) 6時半 神戸文化大ホール

民音・会員・2500円

一般・2800円

★西宮市大谷記念美術館

ピカソ陶芸展

9/20/10/25

★満翠美術館

祥瑞・染付および赤絵

10/12/13

★白鶴美術館

東洋の漆工

9/15/10/18

★エンバ中国近代美術館

碗と皿展

★神戸ダイヤモンドギャラリー

納健自選展

9/19/12/13

★白鶴美術館

東洋の漆工

9/15/10/18